

オープンサイエンス時代の知の共有を支える － メタデータ流通ガイドライン

発表2 「メタデータ流通ガイドライン（ドラフト版）」について

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）
コンテンツ流通促進作業部会メタデータチーム
片岡 朋子（お茶の水女子大学）

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の紹介

<JPCOARとは>

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR：Japan Consortium for Open Access Repository）
リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的として2016年7月に設立。

会員機関数695機関*（2022年6月1日時点） * 国公立大学、研究機関、博物館、美術館、法人等

<JPCOARスキームとは>

日本の機関リポジトリのメタデータ流通に用いる規格。国際的な相互運用性を向上させ、日本の学術的成果の円滑な流通を図ることを目的として2017年に策定。



オープンアクセスリポジトリの役割と研究開発活動の変容

機関リポジトリの成長

学術雑誌掲載論文のセルフアーカイブの受け皿として誕生
オンライン紀要の出版ツール、
博士学位論文の制度的公表メディアとしても成長*

論文・図書・学位論文



オープンアクセスの推進

デジタルアーカイブをめぐる動向

① デジタル化事業の促進
研究成果公開促進費（科研費）
歴史的典籍NW事業（国文研）…

② 情報発信基盤の整備



③ 共有・利活用の促進

「我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性」「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」（デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会・実務者協議会）（2017年）
「大学図書館におけるデジタルアーカイブの利活用に向けて」（国立大学図書館協会）（2019年）…

研究開発活動の変容

世界的な知の共有を目指した
研究成果のオープン化の進展**



研究データ



研究データ
マネジメント
(RDM)

デジタルアーカイブ



歴史的・文化的デジタル
情報資源への対応

* オープンアクセスリポジトリ推進協会の概要（<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/38>）より抜粋

** 統合イノベーション戦略推進会議「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」（<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaioopen/sanko1.pdf>）より抜粋

JPCOARスキーマVersion 2.0に向けた検討

デジタルアーカイブ

1. ライセンス（利用条件）

- ライセンスを独立したメタデータ項目として権利情報から分離し、メタデータ等のライセンスも記述できるようにする

2. コレクション情報

- 集合体としての情報をコレクション単位の情報として表現できるようにする

3. 日付（リテラル）

- 詳細な年月日が不明な資料に対応するため、日付をリテラルに記述できるようにする

4. IIIFマニフェストURI

- 画像の国際標準規格IIIF(International Image Interoperability Framework)のURIを流通できるようにする

JPCOARスキーマVersion 2.0に向けた検討

研究データ

1. 資源タイプ

- オープンアクセスリポジトリ連合（COAR）の統制語彙Resource Types 3.0*に対応し、研究データおよび特許に関する語彙を拡張（experimental data - 実験データ, observational data - 観測データ, survey data - 調査データ等）

2. 日付（機械可読形式）

- 範囲指定による記述や時刻・タイムゾーン等のより詳細な記述を可能にする（W3CDTF形式、RKMS-ISO8601形式）

3. ガイドラインの整備

- 研究データの「メタデータの共通項目」**とJPCOARスキーマとの対応付けを整理し入力ガイドラインを作成

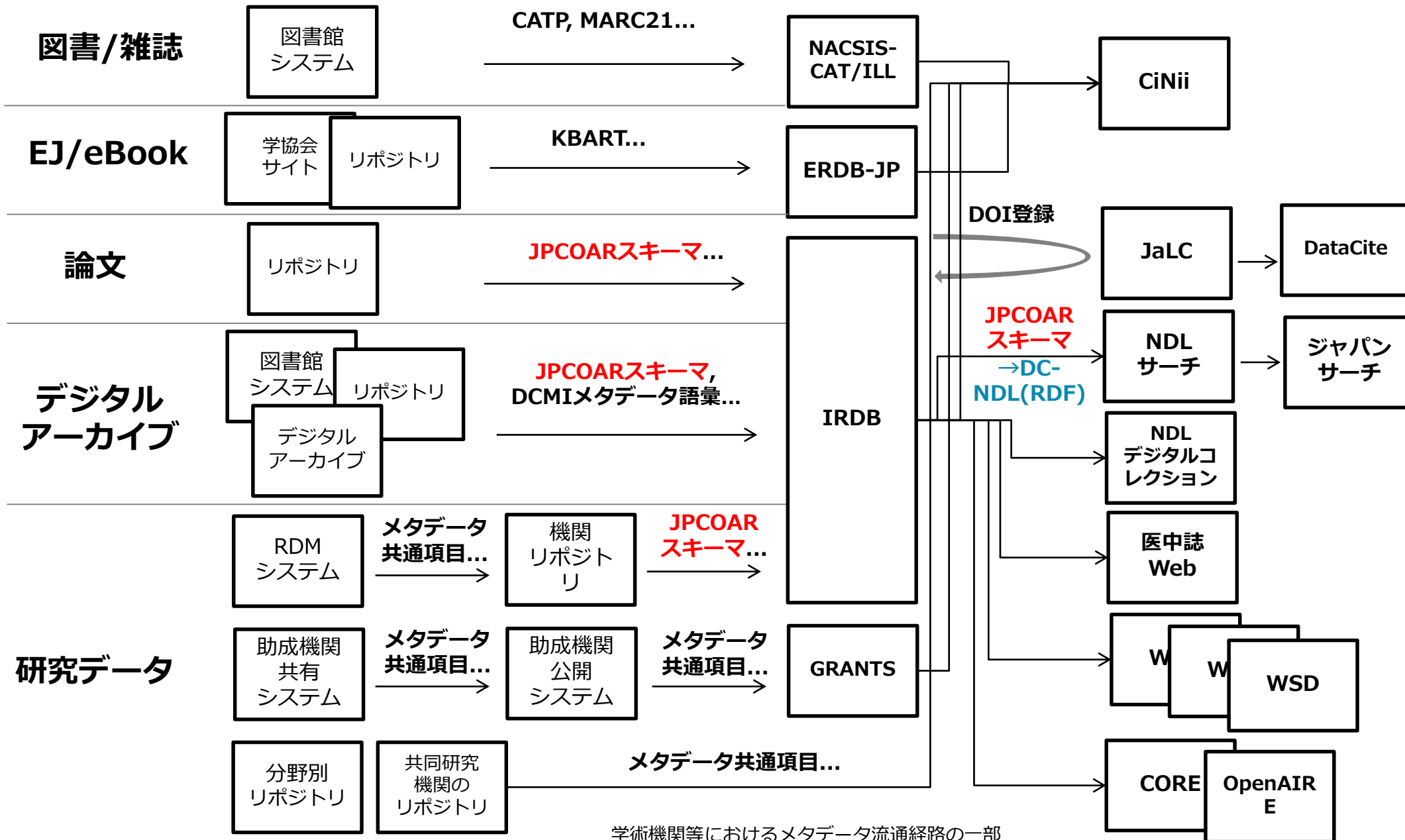
4. データの分野

- 主題の種類を拡張してe-Radの研究分野（大分類）に対応する

* COAR Controlled Vocabularies Resource Types 3.0 (https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/3.0/)

** 「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」におけるメタデータの共通項目 (https://www8.cao.go.jp/cstp/common_metadata_elements.pdf)

知の共有を支えるメタデータ流通

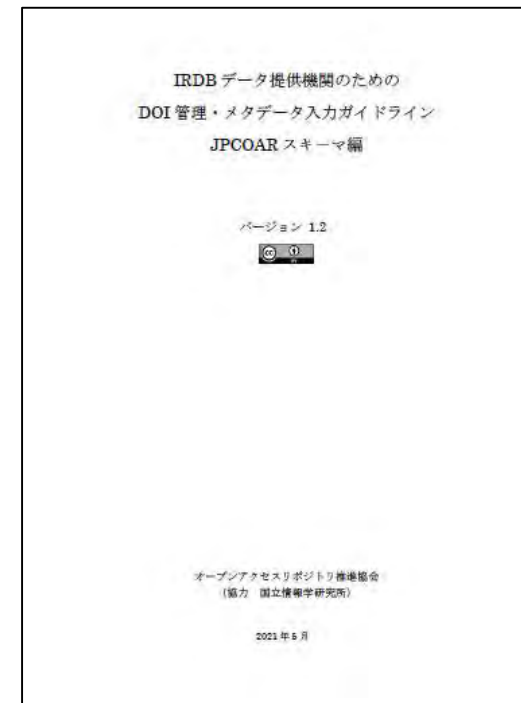


学術機関等におけるメタデータ流通経路の一部

JPCOARスキーマのガイドラインやDOI登録のガイドラインは整備済みだが...



JPCOARスキーマガイドライン
<https://schema.irdb.nii.ac.jp/>



IRDBデータ提供機関のための DOI管理・メタデータ入力ガイドライン：
JPCOARスキーマ編 <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>

課題

- スキーマ定義の背景にある考え方が十分に共有できていない
- メタデータ流通経路の現状把握と経路整備への参画が必要
- スキーマ間の相互運用性の確保



「メタデータ流通ガイドライン」の策定を
きっかけにメタデータ流通関係者の連携に
より解決を図る

国立国会図書館サーチ ヘルプ

メインページ > 国立国会図書館サーチについて > メタデータ流通ガイドライン：別紙

メタデータ流通ガイドライン：別紙

はじめに | 共通編 | 別紙 | お問い合わせ

目次

- 別紙1：ガイドラインが目指すもの（2022年3月18日公開）
- 別紙2：流通に適したメタデータとは？（2022年3月18日公開）
- 別紙3：メタデータ流通経路（2022年3月18日公開）
- 別紙4：ガイドラインの対象スキーマ（2022年3月18日公開）
- 別紙5：データ項目一覧（対照表）（2022年3月18日公開）
- 別紙6：データ項目一覧（識別子）（2022年3月18日公開）
- 別紙7：メタデータ構造（2022年3月18日公開）

<別紙1：ガイドラインが目指すもの>

本ガイドラインの普及により、次の3つの目標を達成します。

1. 流通に適した、メタデータの標準を提案する。
2. 効率的で持続可能性の高い、メタデータの流通経路を整理する。
3. メタデータ流通に関するコミュニケーションツールとして機能する。

検索

国立国会図書館サーチについて

ヘルプ

国立国会図書館サーチについて

事業について（連携計画）

システムについて

説明会・報告書類

開発の歴史

ご利用について

検索対象データベース一覧

メタデータ

DC-NDL (RDF) フォーマット仕様

便利な使い方

現在の制約事項

APIのご利用について

API仕様の概要

API提供対象データプロバイダー一覧

提供機能の詳細

国立国会図書館サーチとの連携

新規に連携を希望される機関の方へ

連携機関インタビュー

国立国会図書館サーチと連携中の機関の方へ

国立国会図書館総合目録ネットワークデータ提供館の方へ

連携についての参考資料

JPCOARからの期待

- 緩やかな標準化の推進
≠完全な統一
≡スキーマ間の違いをなるべく埋める
- メタデータ流通関係者の「コミュニケーションツール」としての役割
- 持続可能な改訂の実現（ドラフト版から正式版、ver2.0...へ）

多様な視点/貢献により
より良いものに！

参考資料

- メタデータ流通ガイドライン
<https://iss.ndl.go.jp/information/guideline/>
- JPCOARスキーマガイドライン
<https://schema.irdb.nii.ac.jp/>
- JPCOARスキーマ XMLスキーマ定義(GitHub)
<https://github.com/JPCOAR/schema>
- JPCOARスキーマVersion 2.0策定方針
<https://doi.org/10.34477/0002000146>
- IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン（JPCOARスキーマ編）
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>